

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆社会保障負担率、引き下げへ目標設定 骨太の方針に明記

・政府は国民所得に対する社会保険料の比率について、引き下げを前提に目標設定を検討。高齢者の就労増加を踏まえ、現役世代の負担を軽減する考え。7月中に決める経済財政運営と改革の基本方針(骨太の方針)に盛り込む。月内にも経済財政諮問会議に示す。保険料率は2026年度の見通しで17.6%と、01年度(13.7%)から3.9ポイント上がった。

◆企業の7割「ナフサ高騰の影響強まっている」 帝国データバンク調べ

・帝国データバンクは中東情勢に伴うナフサ(粗製ガソリン)など石油製品供給状況に関する影響調査を発表。3、4月と比べ、約7割の企業が影響の強まりを実感していると回答。3、4月と比べた事業全体の影響については、「さらに強まっている」が32.6%、「やや強まっている」が36.8%。69.4%の企業が影響の強まりを実感。

◆7～8月に高温予想 気象庁の3カ月予報、降水量は平年並み

・気象庁は7～9月の3カ月予報を発表。平均気温は東日本や西日本、沖縄・奄美で平年より高く、北日本で平年並みか高い見込み。特に7～8月は平年と比べ高温予想の地域が多く、同庁は熱中症への警戒を呼びかけている。気象庁によると、期間の前半は偏西風が北寄りを流れ、暖かい空気に覆われやすい。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆リフォーム・リニューアル調査 25年度住宅受注高18.7%増

・国土交通省は2025年度第4四半期受注分および通期の「建築物リフォーム・リニューアル調査報告」を発表。2025年度第4四半期の受注高は3兆7037億円で、前年同期比10.3%増加。内訳は、住宅の受注高が1兆1655億円(前年同期比27.0%増)、非住宅が2兆5381億円(同4.7%増)。受注高は16兆4104億円(前年度比18.7%増)。

◆「適合R住宅」25年度は3%増 開始から17年累計8.7万件

・リノベーション協議会は優良なリノベーションの品質基準を満たす「適合リノベーション住宅(適合R住宅)」の発行件数を発表。2025年度の発行件数は、全国で前年度比3%増の6621件で、3年連続で前年度を上回った。累計発行件数は、2009年の制度開始から17年で8万7964件。中古住宅市場へシフト中、「適合R住宅」発行件数も堅調に推移。

◆ドバイ原油、衝突前水準を下回る 米イラン協議進展で供給増期待

・米国とイランの協議進展を受け、中東産の指標であるドバイ原油のスポット価格が下落。23日午後11時に1バレル69.7ドルと衝突前の2月27日の70.7ドルを下回り、4カ月ぶりの安値を付けた。原油の供給回復の織り込みが進む。17日に米国とイランが戦闘終結の覚書に署名し、ホルムズ海峡の通航が回復に向かい始めた。

《 注目商品 》

■永大産業、薄型リフォーム用上貼りフロア

・既設の床に上から貼るだけで施工できる薄型リフォーム用上貼りフロア。工期短縮や施工時の騒音・粉塵を抑制し、廃材削減とコスト低減を可能にした。厚さが1.8mmと薄型のため、サッシ枠との段差や建具下部などの干渉を抑え、納まりの良い仕上がりを実現。



■ミラタップ 高コストパナビルトイン冷蔵庫

・同社初となる家電ブランド「インヴィエラ」を立ち上げ、第1弾としてビルトイン冷蔵庫を発売。新商品の「インヴィエラ ビルトイン冷蔵庫」は、ノイズレスな外観と、一般家庭でも導入しやすい価格帯を両立。ミニマルデザインや生産の効率化により13万8000円(税込)～という価格を実現。



■パナソニック、パルックLEDシーリングライト スタンダードシリーズ

・パソコン画面や紙の文字が見やすい光で明るく照らす「パソコンくっきり光」と「文字くっきり光」を全機種に標準搭載し、豊富なデザインや部屋の広さで選べるラインアップに一新した、パルックLEDシーリングライト スタンダードシリーズ計15品番を発売。

